



社会福祉法人あすか福祉会

あそ通信

令和元年 9月号

〒817-0322
対馬市美津島町鶏知甲 738-10
特別養護老人ホーム浅茅の丘
広報委員会
☎ 0920-54-3788



貴族たちは空を見上げて月を眺めるのではなく、水面や盃の酒に映った月を愛でました。

十五夜の月見が盛んになったのは、平安時代。貞観年間(859〜877年)ごろに中国から伝わり、貴族の間に広まりました。

月を見ながら酒を酌み交わし、船の上で詩歌や管弦に親しむ風流な催しだったそうです。

日本では太古の昔から月を神聖視していたようです。十五夜ではありませんが、縄文時代には月を愛でる風習があったといわれます。

旧暦では、7月から9月が秋になりますが、現在の新暦は旧暦と1〜2か月のずれがあるため、「9月7日から10月8日の間で、満月が出る日」を十五夜として扱います。そして、今年の十五夜は9月13日となります。旧暦8月15日は日本の六曜で必ず仏滅にあたることから「仏滅名月」の別名もあるそうですよ。

しかしながら十五夜は雨の日が多いといわれます。そんなときは、十三夜や十日夜の月見をしませんか？

旧暦の9月13日から14日の夜を十三夜といいますが、大豆や枝豆、栗を供えることから「豆名月」、「栗名月」と呼ぶことも。十五夜と同じように月が美しく、さらに晴れの日が多いそうです。今年の十三夜は10月11日になります。

十日夜(とうかんや)旧暦10月10日の夜を指します。東日本を中心に収穫祭がおこなわれ、地の神さまに感謝の気持ちを表します。「田の神さまが山に帰る日」ともいわれ、この日までに稲刈りを終わらせるところが多いそうです。今年の十日夜は、11月6日になります。

十五夜、十三夜、十日夜の3回とも月見すると縁起がいいそうです。みなさま秋の夜長に月見はいかがですか？

夜は涼しく空が澄み、月がキレイに見える季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。あそ通信9月号でございます。

秋の夜空の中でも「十五夜」は特に月が美しく見えます。十五夜は「中秋の名月」とも呼ばれ、「秋の真ん中に出る月」という意味があります。

貴族のようにただ月を眺めるのではなく、収穫祭や初穂祭の意味合いが大きかったようです。十五夜のころは稲が育ち、間もなく収穫が始まる時期。無事に収穫できる喜びを分かち合い、感謝する日でもあったそうです。

庶民も広く十五夜を楽しむようになったのは、江戸時代に入ってからだといわれます。

今年もロビーコンサート開演です!



入居者を代表して、吉田寛さんから御礼の言葉！
素晴らしい演奏と歌に感無量！！



- 1 プログラム
- 2 さくらさくら
- 3 かぐれんぼ
- 4 あんたかたどきさ
- 5 うさぎ
- 6 通リゃんせ
- 7 アイメーキング
- 8 かごめ
- 9 絆



厳原港まつりの花火大会を

見に行きました。



8月4日には、厳原に打ち上げ花火を鑑賞に、夜間外出レクリエーション！
対馬最大の夏祭り「対馬厳原港まつり」のファイナルを約3500発の花火が飾ります。

澄んだ空気のなか、スターマインやミュージックスターマイン、3号玉などが打ち上げられ、漆黒の夜空を彩られました。

会場沖の台船から打ち上げられるため、間近で迫力の花火が楽しめます。

じやらん情報によりまして、今年の打ち上げ数は、3500発だったそうですので、昨年度の3000発より500発増えていたようです(嬉)

そして、8月2日は鶏知中学校の芸術部の皆様による「浅茅の丘ロビーコンサート」を開催！篠原先生が引率され、芸術部18名の生徒さんによる、琴と歌のコンサートでした。

ご入居者様は演奏を聴きながら・・・
「懐かしいね。昔は、習いごと琴ぐらいしかなかったからね」

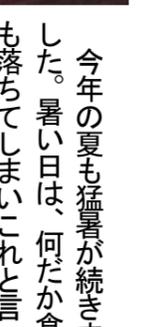
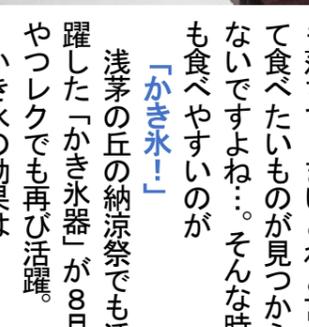
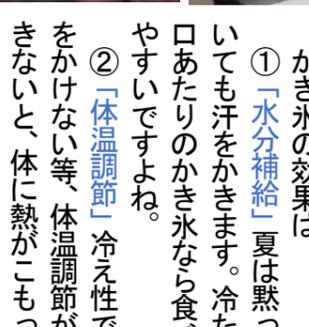
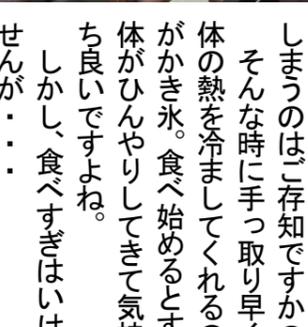
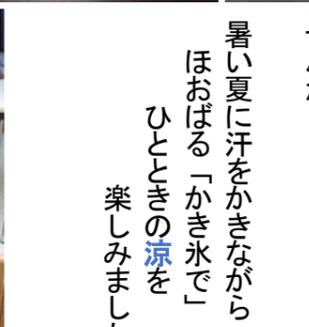
その横で職員は・・・「琴の生の演奏、初めて聴いた・・・」

素晴らしい演奏と歌声に皆さま感動！
鶏知中学校芸術部の皆さま、ありがとうございました(感謝)





**かき氷
食べました
(おやつレク)**



浅茅の丘お助け隊、参上!



浅茅の丘では、ロビーから廊下にかけて、たくさんのご入居者様の写真を飾らせていただいております。
毎月の行事、レクリエーションなど、皆さま良い笑顔で写っておられます。
ご来所の折には、ぜひご覧くださいます。
そして、お助け隊の皆さま! いつもありがとうございます (感謝)



- ★ 9月の行事予定 ★
- 4日 褥瘡委員会・給食委員会
 - 7日 散髪ボランティア
 - 11日 感染防止委員会
 - 16日 敬老祝賀会
 - 18日 事故防止・拘束廃止委員会
 - 19日 勉強会
 - 22日 お誕生会
 - 25日 全体会議
 - 27日 運営委員会
- ☆毎週金曜日は回診

**浅茅の丘の
人気レシピ紹介します**



- < 材料 / 2人分 >
- ご飯 … お茶碗 2杯分
 - 鶏ひき肉 … 40g
 - 人参 … 30g
 - 干しシイタケ … 1g
 - 板こんにゃく … 20g
 - 油揚げ … 6g
 - 油 … 大さじ1
- (A) 料理酒 … 大さじ1
砂糖 … 小さじ1
こいくち醤油 … 小さじ2

9月の誕生者



俵 廣子 様
昭和17年9月5日 77歳



神宮 時枝 様
昭和11年9月29日 83歳



勝見 静子 様
昭和8年9月1日 86歳



藤 智恵子 様
昭和6年9月14日 94歳

- < 作り方 >
- ① シイタケは水で戻し、2mm幅にカットする。
 - ② 人参は短冊切りにし、こんにゃくと油揚げも同じくらいの大きさに切る。
 - ③ 熱したフライパンに油をひき、鶏ひき肉を炒める。肉の色が変わったら(A)と人参・シイタケ・油揚げ・こんにゃくを入れて炒める。
 - ④ ボールにご飯を入れて、粗熱をとった③を入れて混ぜる。
 - ⑤ 器に盛り、完成。

施設内では飲み込みやすくする為、このレシピよりも小さく切っています。ご家庭では食べやすい大きさでどうぞ。

